

安全データシート (SDS)

作成日：1998年8月18日
改定日：2022年2月15日

【1.製品及び会社情報】

製品の名称	天草陶石
会社名	ソブエクレ株式会社
住所	名古屋市港区新船町2丁目1-4先
電話番号	052-654-1333
FAX番号	052-654-1260
緊急連絡電話番号	052-654-1333
推奨用途	一般工業用
使用上の制限	特になし

【2.危険有害性の要約】

GHS分類：本製品は不純物として石英を含有しており、以下の分類、
情報は石英（結晶性シリカ）によるものになる

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性物質	区分に該当しない
	鈍化性爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入）	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳に対する又 授乳を介した影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器系、腎臓）
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない
環境有害性		分類できない

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
発がんのおそれ
呼吸器系の障害
長期又は反復ばく露による呼吸器系、肝臓の障害

注意書き 安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
必要に応じて個人保護具や換気装置を使用し、暴露をさける。
粉じんを吸入しない。
取扱時に飲食、喫煙をしない。
取扱後はよく手を洗う。
施錠して保管すること。

応急措置

気分が悪いときは医師の診断、手当を受ける。

【3.組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別

化学名

化学式

成分

化学物質

陶石

$\text{SiO}_2 \cdot \text{Al}_2\text{O}_3 \cdot \text{K}_2\text{O} \cdot \text{H}_2\text{O}$

SiO_2 76 ~ 81 mass%

Al_2O_3 13 ~ 18 mass%

K_2O 1 ~ 3 mass%

CAS番号

該当なし

官報公示整理番号

対象外(天然物)

分類に寄与する不純物及び

データなし

安定化添加物

濃度又は濃度範囲

データなし

【4.応急措置】

吸入した場合

大量の粉塵が発生して、気管支に刺激がある場合には、速やかにその場所から離れてきれいな空気を吸い込むと、咳払い・痰・くしゃみ・呼吸困難は解消する。大量の粉塵を吸入した場合や、気分の悪い時は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

皮膚が乾燥した場合には、通常に加湿クリームを使う。傷にふれた場合には、中性洗剤か水で洗浄する。刺激はほとんどないがもし刺激等があれば、医師の診断を受ける。

目に入った場合

直接目に入ると刺激痛がある。速やかに水で洗い流す。洗浄後も痛みや目の赤みがとれない場合には、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

特に悪影響はないので、処置の必要はない。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

【5.火災時の措置】

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の危険有害性

特になし

特有の消火方法

特になし

【6.漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置
環境に対する注意事項
回収、中和

封じ込め及び浄化の方法・機材
二次災害の防止策

粉塵濃度が暴露限界を超える場合には、防塵マスク（国家検定合格印）を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

作業場に漏洩した場合には、ショベルで回収あるいは掃除機で吸引する。製品がきれい乾燥していれば適当な容器に入れて廃棄する。

床の水洗は、床が非常に滑りやすくなるので好ましくない。

漏洩した陶石がすでに濡れている場合には、粉がなくなるまで水で完全に洗浄する。

危険でなければ漏れを止める。

床面に残ると粉塵が発生したり、すべる危険性があるので、こまめに回収する。

【7.取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策

局所排気・全体換気

安全取扱い注意事項

保管

技術的対策

混触危険物質

保管条件

容器包装材料

必要に応じて防塵マスク、防塵眼鏡を着用する。

必要ならば粉塵濃度を推奨暴露限界値以下に保つために、局所排気設備を設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。

混合接触させていけない物質はない。

粉塵の発生を防止し、倉庫内でパレット上にて保管する。

特になし

粉が付着していると滑りやすいので荷崩れに注意する。

施錠して保管すること。

特になし

【8.暴露防止及び保護措置】

管理濃度

$$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$$

(E：管理濃度 mg/m³、Q：粉じん中の遊離ケイ酸含有率)

許容濃度(暴露限界値、
生物化学的暴露指標)
日本産業衛生学会 (2021年)

第1種粉じん 吸入性粉じん 0.5mg/m³
総粉じん 2mg/m³

設備対策

保護具 呼吸器の保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

衛生対策

粉塵が作業場所を汚染しないように、設備の密閉化・局所排気装置の設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。

推奨暴露限界値を超える粉塵濃度の場合、承認された防塵マスクを着用する。

必要に応じて適切な保護手袋を使用する。

必要に応じて適切な安全メガネを使用する。

必要に応じて適切な保護衣を使用する。

取り扱い後は手を洗うこと。

【9.物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など

臭い

融点

沸点、初留点及び沸点範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

引火点

自然発火点

pH

動粘性率

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

比重(密度)

相対ガス密度

粒子特性

黄色粉末

無臭

データなし

データなし

なし

データなし

データなし

データなし

9.0 (5%スラリー水溶液)

データなし

水に不溶

データなし

データなし

2.8

データなし

平均粒径 15～25 μm (X線透過式)

【 10.安定性及び反応性 】

反応性・化学的安定性	常温・常圧下で安定。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	粉塵の拡散。
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	特になし

【 11.有害性情報 】

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷又眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	(SiO ₂) IARC：グループ 1 (人に対する発がん性がある)
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	製品に含まれる石英（結晶質シリカ）について反復ばく露に比べるとデータが大幅に少ないが短期ばく露でも吸入濃度が高い場合には呼吸器系に影響を及ぼすと記述ある。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	製品に含まれる石英（結晶質シリカ）について呼吸器系・腎臓に影響を及ぼすとの記述がある。
誤えん有害性	データなし

【 12.環境影響情報 】

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有毒性	データなし

【 13.廃棄上の注意 】

残余廃棄物	一般産業廃棄物として地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。

【 14.輸送上の注意 】

国連番号	該当なし
国連分類	該当なし
海洋汚染物質	非該当
国際規制	海上・航空規制情報
国内規制	陸上規制情報
	海上・航空規制情報
特別の安全対策	水濡れ・転倒・落下・損傷がないように積載し、荷崩れ防止を行う。

【 15.適用法令 】

労働安全衛生法	粉塵障害防止規則（第二条関係別表第一に掲げる作業）
じん肺法	名称等を通知すべき有害物質（政令第18条の2別表第9の312シリカ） 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業（粉じん）

【 16.その他の情報 】

P R T R 法	第 1 種指定化学物質及び第 2 種指定化学物質には該当しません。 （平成20年11月21日に公布された政令に対応）
アスベスト	厚生労働省発布の平成18年8月28日基安化発第0828001号 『天然鉱物中の石綿含有率の分析法について』で示される方法で石綿含有率0.1重量%を超えていません。

本データシートは、本製品の工業的な一般的な取扱いについて最新の情報を集めたものでありますが、完璧なものではありません。又、本データシートは、保証書ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正されることがあります。本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、ご需要家各位が安全性の評価を実施し、自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。